

令和 2年度 基本事業評価シート （令和元年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 01 調和の取れた市域の形成
基本事業 01 計画的な土地利用
主管課： 都市計画課
関係課： 企画課、建設課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市内全域	市街化区域の有効な土地利用の促進を図る。 市街化調整区域の無秩序な開発を防ぎ、環境の保全に努める。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市街化区域に占める宅地の割合					
（％） 都市計画課					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
57.00	60.72	60.82	60.82		58.00
向上指針	上がると良い	（状況）前年度より0.1ポイント、基準値からは3.82ポイント増加しており、目標値を上回っています。 （原因）市街化区域内の未利用住宅、集合住宅建築等による宅地化が進んだため、割合が増加したものと考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

市街化調整区域に占める宅地以外の割合					
（％） 都市計画課					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
88.90	88.41	88.26	88.26		88.00
向上指針	上がると良い	（状況）前年度より0.15ポイント、基準値からは0.64ポイント減少していますが、目標値を上回っており、市街化調整区域の宅地化は抑制されています。 （原因）例年と同程度の件数の開発行為はあるものの、市街化調整区域においては、法令の規制により農地、山林等の開発が抑制されていると考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	21,012	17,021	23,471	302,454	25,109
人件費	12,810	11,878	33,206	0	0
トータルコスト	33,822	28,899	56,677	302,454	25,109

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>今年度は、持続可能なまちづくりを目指し、令和2年3月に、立地適正化計画を策定し都市計画マスタープランの見直しを実施しました。引き続き、快適で暮らしやすいまちづくりのため、計画的な市街地形成に取り組んでいきます。</p> <p>新守谷駅周辺地区の土地利用については、地権者による発起人会を立ち上げて土地利用の検証を重ね、地権者の合意形成を図りました。</p> <p>守谷駅東口市有地整備事業は、事業者の公募を行い優先交渉権者を決定しました。また、みずき野地内商業施設跡地は、引き続き、官民連携による利活用を推進していきます。</p>	推進状況	順調
	次年度への課題	課題なし
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]